

I 求める学生像

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

詳細については、本学のホームページ (<http://www.kagawa-u.ac.jp/>) を参照してください。

教 育 学 部

教育学部では、学校教育教員養成課程と人間発達環境課程の2つの課程を設置し、学校教員・教育者としての総合的な資質・能力及び教育実践力の育成をめざしています。

このため、教育学部では、以下のような資質を持つ学生を求めています。

(1) 知識・理解・技能

- ① 高等学校における各教科の学習の基礎が達成されていること
- ② 得意な教科を持っていること

(2) 思考・判断・表現

理解力・着想力・思考力及び文章表現上の諸能力など、論述の能力を持っていること

(3) 関心・意欲

- ① 学校教育や生涯学習に関心を持っていること
- ② 創造的な探究心と勉学意欲を持っていること
- ③ 学校教育教員養成課程においては、ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど、子どもの理解と教育に携わる意欲を持っていること
- ④ 人間発達環境課程においては、人間とは何かを考え、人間を取り巻く環境や生涯学習、あるいは世界の言語・文化・社会に関心を持ち、これらに関連した分野で社会に貢献する意欲を持っていること

(4) 態度

様々な課題にチャレンジする積極性を持ち、経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努めていくこと

法 学 部

法学部は、法律学と政策科学の専門的な素養を身につけながら、①社会がかかえる問題を発見する観察力、鋭い分析力、解決案を導く柔軟な思考力、②社会のさまざまな利害関係の調整、紛争の解決、政策の立案を適切に行うための知識と技術、③自らのアイデアを的確に表現し、公正な議論を通して、社会の発展に積極的に貢献できる発信力などを養うことを目標にしています。

こうした力を養成する前提として、法学部に入学を希望する学生には、「現代社会への関心」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」「社会の構成員としての自覚」という四つの資質を求めています。

- (1)「現代社会への関心」 現代社会の動きに常に関心を持っている人。書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を持っている人
- (2)「論理的思考力」 物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考えることのできる人
- (3)「コミュニケーション能力」 文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力をもって表現できる人。相手の意見からも学べる人。議論をリードし発展させることのできる人
- (4)「社会の構成員としての自覚」 社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自律的に行動できる人

本学部に入學を希望する人は、入學後の教育に対応できる素質を養うため、高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは、大学教育の前提となるものです。まずは国際的な視野とコミュニケーション能力を重視することから、英語及び国語の基礎的な能力を身につけておく必要があります。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史あるいは公民など社会科学の科目もしっかり学んでください。さらに法学・政治学に必要な論理的思考力は数学・理科の学習によって培われます。万遍なく学んでください。

経 済 学 部

本学部では、経済や社会に関するさまざまな現象に関心を持つだけでなく、解決を必要としている問題を発見し、自ら解決できるような知識と技能を修得したいと考えている学生を求めています。具体的には、論理的思考方法、情報の収集及びコンピューターを用いた処理技術、プレゼンテーション技術、コミュニケーション方法などを修得した上で、グローバル化する社会において自己が果たすべき社会的責任と倫理観を備えるとともに、経済や社会の仕組みに関する専門的知識、企業の経営や戦略に関する専門的知識、会計に関する専門的知識、世界各地の言語、社会、文化、歴史に関する幅広い知識などを修得したいと考えている人、そして以下のような職業に就きたいと考えている人を求めています。

- (1) 官公庁において国や地域の運営や活性化などに従事したい人
- (2) 企業における経営や戦略の企画・実践に従事したい人
- (3) 海外での仕事や国際取引に従事したい人

入学を希望する人は、高等学校において、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。英語・数学・国語の基礎学力は、次のような理由から必要になります。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。

医 学 部

【医 学 科】

常に進歩する医学を理解しそれを医療に生かす医師や国際的に活躍できる優れた研究者となるには、生涯にわたり絶え間ない努力と向上心が必要であり、医学・医療に一生を捧げる確固たる使命感と責任感を持っていることが必須です。さらに、医学的な専門知識と技術を修得できる高い学力、能力が必要となります。医学科の講義・実習は、質・量共に高いレベルで行われるので、それを修得するのに十分な基礎学力と科学的・論理的思考力が備わっていることが望まれます。そして何より医学への興味、学習意欲を有し、絶え間ない向上心・問題意識を持った学生を求めます。

一方、医師には学力のみならず、高い道德・倫理観が要求されます。尊い人命を預かる医師はもちろんのこと、研究を専門とする医学研究者にも高い倫理観と責任感が求められています。さらに、患者さんとの信頼関係、他の医療スタッフや研究者との良好な対人関係を築ける協調性也非常に大切です。これらは医学を学んでいく過程で身につけていくことも可能ですが、年齢に応じた資質としてすでにある程度備わっていることが望まれます。つまり、医学部においては知情意の総合力において優れている人が理想的と言えるでしょう。

医学部医学科を志望する人は、高等学校において、理科、数学、英語、国語を中心とした基礎学力を十分に身につけていることが重要です。特に、理系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが理想です。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学です。また、英語は、国際的に活躍するためのコミュニケーションツールとしてだけでなく、英文テキストや科学論文の読解や論述にも必要です。併せて、国語の基礎学力は、考えを論理的に展開したり文章にまとめたり、適切に表現するために必要となります。

【看 護 学 科】

看護学科では看護の対象を包括的に捉える専門的、学際的知識と技術が必要です。そのためには、対象が抱える看護の問題を明らかにし、解決するための判断力や論理的思考力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力の向上をめざすことができる人を求めています。

さらに、看護学は「人間」、「環境」、「健康」、「看護」の概念を基に構成される学問です。これらの抽象的な事象から、より現実的で具体的な内容まで様々な事象を理解する能力が重要であり、一人で学習すると同時にグループで学習することも多いため、学生時代から他者との連携、協同により目的を達成することが求

められます。それには、言語的、非言語的に自己の考えを表出したり、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要です。

また、次世代の看護学を担う皆さんには、看護専門職として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり研鑽に努めることができる人を求めています。

以上のことから入学を希望する人は、高等学校において国語、理科、外国語、数学、社会の各教科の基礎学力を十分に身につけておいてください。

工 学 部

工学部では、次のような学生を求めています。

<知識・理解>

(1) 高等学校で学習する国語、外国語、数学、理科などを中心に、工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。

<思考・判断>

(2) 物事を多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができる。

<関心・意欲・態度>

(3) 工学の分野に興味関心を持って自ら積極的に学習する意欲を持ち、身につけた知識・技術を、地域社会及び国際社会に役立てたいと考えている。

<技能・表現>

(4) 自分の考えを、他者からもわかりやすく日本語で表現できる。

入学を希望する学生は、高等学校において、数学、理科、国語、英語を中心に基礎学力を身につけておいてください。工学部では、数値解析や情報処理などを行うソフトウェア、ビルやロボット・コンピュータなどのハードウェア、そしてそれらを支える新しい材料・物質などの設計・開発を行えるような専門知識を学びます。これらは、数学・理科の知識の上に成り立っています。なお、数学Ⅲの知識も極めて重要ですので、学ぼうにしてください。学科によって必要な理科の科目は多少異なっていますので、希望する学科に合わせて、物理、化学、生物、地学等から必要科目を身につけておいてください。

理系だからといって国語や英語、社会は学ばなくてよいということはありません。技術調査や報告書作成・製品紹介などを行うには文章の読解と作成の能力が必要ですし、特にチームで仕事をこなすには意思疎通の能力が求められます。現代の国際化社会においては国際コミュニケーション能力も求められています。大学の講義にてこのような能力を本格的に養うためには、高等学校でこれらの科目の基礎学力も身につけておく必要があります。

また、勉学だけでなく、生徒会活動やクラブ活動に主体的に取り組む、学園祭の運営に積極的に参加する、ボランティア活動に参加して様々な価値観をもつ人と触れ合う、夏休みを利用してホームステイを体験するといったような様々な経験を通して、幅広い視野と主体性・積極性を身につけた意欲ある学生を求めています。

農 学 部

食料と健康、環境は、現代の農学が担う重要な課題です。そのような視点から農学部では、生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、人間・社会・自然について幅広い知識と視野を備え、地域社会や国際社会の様々な課題を積極的・主体的に探求し、解決したいと考えている学生を求めています。応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を修得し、自然と調和した安全で快適な社会の実現をめざす高い倫理性と社会的責任を自覚して自律的に行動することができ、生物関連産業の場で活躍したいと希望する学生諸君の入学を期待しています。

入学を希望する人は、高等学校において、理科、数学、国語、英語を中心とした全般的な基礎学力を十分に身につけておいてください。先端的かつ総合的な応用生物科学を理解し、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。入学後、生物資源の生産と利用に関する情

報を理解し，自らの論理的思考及び判断をもってこれらを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけることを目標にしています。これらの基礎的な能力を日本語だけでなく英語でも修得するために国語と英語の基礎学力が必要となります。